

新田嘉七社長に聞く 中

います。生産された豚肉は、なるべく添加物を使わずにハム・ソーセージなどに加工して提供しているほか、国産素材と化学調味料不使用にこだわった全国の飲食店を「良い食の会」としてネットワーク化し、これからの食のあるべき姿を示しています。企業として利益を上げ雇用を維持することは重要ですが、同時に、従業員や消費者の暮らし、そし



そうした考えの下、今年4月からは従業員の福利厚生の一環で、従業員とその家族（子供）を対象に、歯科メンテナンスへの助成を感したこともあり、会社と



創業50周年と河北文化賞受賞祝賀会であいさつした
平田牧場の（左から）新田嘉七社長、嘉一会長、嘉
七社長の長男で社長室勤務の嘉一郎氏＝今月8日、
酒田市のガーデンパレスみずほ

社員の健康づくりからまちの健康へ——
「食に関わる「医者」として地域の役に

ていくと思います。

◆熊谷先生とのつ

て今月22日「おなたの仕事は「誰を」幸せにするか？」の著者である医療法人社団K.N.I理事長の北原茂実先生（脳外科医）を酒田市に招き、講演してもらいます。北原先生はビジネスが持っている社会を変えていく力に注目し、「総合生活産業としての医療」でま

す。各家庭で食べるもの、全て無添加になるのが理想ですが、そこまで持っていますが、そこまではかなりハードルが高い。うちでは無添加の弁当や惣菜も作っているのですが、家庭ではまずそれ買って食べてもらい、本物の味に親しんでもらう。難しけど、まずは簡便で良いものの売

◆うちは食に関わる企業。
食はいのちそのものであり、
というこゝとですね。

より良く生きることに、それだけ貢献できるかが重要です。それをまず社員から実践していくのが分かりやすい。日本版401K（掛け金を企業が負担する確定拠出年金）も導入し、老後に向けた貯蓄も奨励しています。これからの企業は、社員がより良く生きるため、目標を持ち、良い環境で、良い仕事をして、良い人生を送るのを支援する。そういうことを一生懸命にやらないと社会に貢献できない。そういうことをもって体系立ててやろうと今、準備を進めているところです。